



後援：自治体学会、文京学院大学、(財)地方自治総合研究機構(財)自治総合センター、(財)地域活性化センター、(財)まちづくり市民財団(財)地方自治総合研究所、(社)日本青年会議所、にいがたまちづくり学会  
総合研究開発機構



全国40都道府県からフォーラム600名余、交流会200名余、延べ800名余りの方々のご参加をいただき、盛況のうちに終了できました。ご参加、ご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。

## 1 開催趣旨

平成の大合併がよいよ具体化に向けて進み始めました。自治体は、今、地方分権から地方主権に向けた新たな変動期を迎えようとしています。ポスト市町村合併の時代において、基礎自治体は何に取り組むべきか、さらに、より地域に密着した市民自治の仕組みをいかにつくるか、あるいは中間的な広域自治体である都道府県の枠組みをい

かに組み替えていくか、などの新たな課題を模索し、新たな自治のかたちを展望しなければなりません。

設立から17年を経た自治体学会の新たな時代認識とともに、自治体学会を母体として誕生した自治のシンクタンク「自治創造コンソーシアム」の創設を記念し、新たな地域ガバナンスの担い手「地域ガバナー」が一堂に会する場として、未来に向けた実践的な社会提案を行う「地域ガバナンスフォーラム」を開催することとしました。

自治体職員や研究者、「地域ガバナー」としての地方議員、首長、NPOメンバー、市民、今後地域ガバナーを志す人々などに、ぜひご参加いただき、「真の自治とは」「市民自治に立脚した地域ガバナンスのあり方とは」などについて、課題を共有し、ともに未来を構想していきたいと思えます。

## 2 日時：2004年2月7日（土）

第1部 10時30分から12時

第2部 13時30分から15時

第3部 15時30分から17時

交流会 17時15分から19時

## 3 会場：文京学院大学（本郷キャンパス）「仁愛ホール(島田依史子記念館内)」

〒113-8668 東京都文京区向丘 1-19-1 TEL:03-3814-1661

営団地下鉄・南北線「東大前」駅 2番出口真上

## 4 対象：地方議員、首長、NPOメンバー、「地域ガバナー」志望者、自治体職員、自治問題研究者等

## 5 参加費（当日、申し受けます）：

フォーラム 3,000円（学生1,000円）

昼食 1,000円 ※会場周辺に食堂がありません。

交流会 5,000円 ※新たなネットワーキングの機会。

## 6 プログラム（敬称略・都合により講師が変更となる場合があります）

### 第1部 合併の波の先にあるもの—基礎自治体のかたち—

【コーディネーター】森田 朗（東京大学教授）

【パネリスト】逢坂 誠二（北海道ニセコ町長）

福嶋 浩彦（千葉県我孫子市長）

松島 貞治（長野県泰阜村村長）

## 第2部 新しい自治のかたち—市民自治の担い手—

【コーディネーター】大森 彌（千葉大学教授）

【パネリスト】市村 次夫（長野県小布施町・小布施堂社長）

高橋 卓志（長野県NPOセンター理事長・神宮寺住職）

森 貞述（愛知県高浜市長）

【コメンテーター】 林 泰義（計画技術研究所長・玉川まちづくりハウス運営委員）

## 第3部 分権時代の都道府県のあり方—広域自治体の展望—

【コーディネーター】新藤 宗幸（千葉大学教授）

【パネリスト】上田 清司（埼玉県知事）

篠田 昭（新潟市長）

松沢 成文（神奈川県知事）

7 問合せ：事務局 TEL&FAX (03) 3553-6313（担当：澤田、大脇）

e-mail [info@jichi.org](mailto:info@jichi.org)